

今号の主な内容

- 3面 食品衛生監視指導計画(案)にご意見をお寄せください
- 3面 3月の各種相談
- 4面 第1回区議会定例会
- 4面 元気館・健康増進プログラム(4月~6月)

広報 しんじゅく

〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-4-1 ☎(3209)1111 ホームページ <http://www.city.shinjuku.tokyo.jp/>

平成18年度区民意識調査結果まとまる

「区との協働」地域に浸透

区では、区の重要課題に対する区民の皆さんの意識・要望を把握し、今後の区政に反映させるため、毎年「区民意識調査」を実施しています。

18年度は、例年調査している項目のほか、「暮らしやすさも賑わいも一番の自治のまち新宿」の実現に向けて、コミュニティーや協働、シニア世代やニートについての意識、暮らしの中の安全などについて伺いました。多くの方にご協力をいただき、あり

がございました。

報告書は、区政情報課・区政情報センター(本庁舎1階)・区立図書館で閲覧できるほか、新宿区ホームページでもご覧いただけます。また、報告書の要約版を区政情報課・区政情報センター・特別出張所で配布しています。

【問合せ】区政情報課広聴係(本庁舎3階) ☎(5273)4065へ。



※調査は、昨年8月中旬に、無作為抽出した20歳以上80歳未満の区民の方2,500名を対象に郵送で実施し、1,209名の方から回答をいただきました。

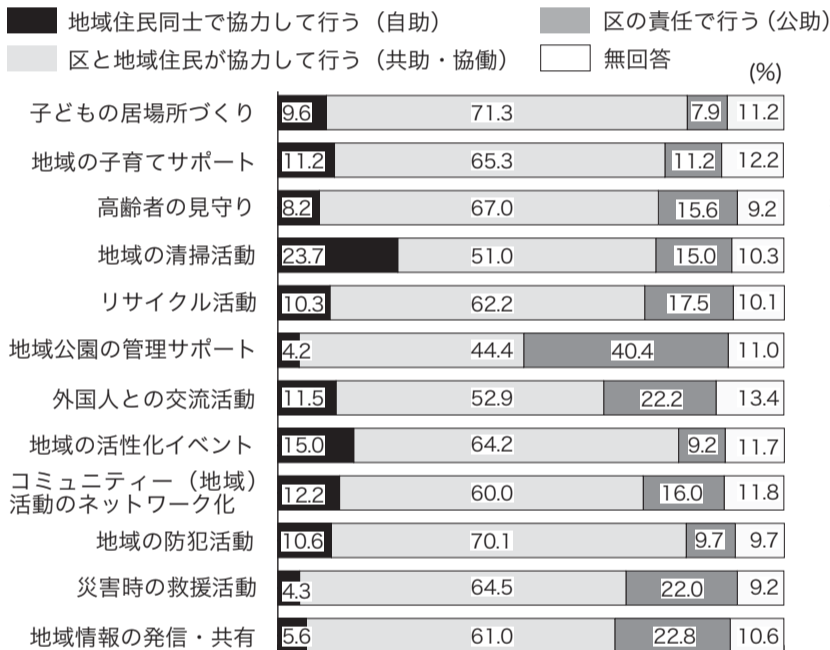
区民の協働意識

◎地域社会における活動の推進方法

▶ほとんどの活動は「区との協働で」が大多数を占める

▶「地域の清掃活動」「地域の活性化イベント」では「自助」の意識も高い

地域社会の各活動の推進方法について尋ねたところ、すべての項目で「区と地域住民が協力して行う」が最も高いという結果になりました。特に「子どもの居場所づくり」と「地域の防犯活動」では7割台となっています。「地域の住民同士で協力して行う」が最も高いのは「地域の清掃活動」で2割台半ば近くでした。



◎シニア世代の社会参加

シニア世代がまちづくりの担い手となるために必要なことを尋ねたところ、「活動に必要な情報提供」(61.9%)、「人材登録制度などのシステム」(42.9%)、「参加を呼び掛ける団体・世話役」(34.7%)などが多く挙げられました。

◎ニートへの支援

「ニート」へどのような対応をしたらよいかを尋ねたところ、20歳代では「本人の意志や気持ちを尊重する」「同じ悩みを持つ人たちと情報交換する」と回答した割合が高く、その他の世代では、「本人と家族で十分に話し合う」「相談機関に相談する、または相談機関の情報を探す」が高くなっており、若者とその他の世代との間に意識の差が見られました。

区政への要望

◎「子育て支援」が初めて施策要望のトップ3に

「高齢者福祉の充実」が第1位でした。上位10項目では、「騒音・大気汚染対策」「ごみ減量・リサイクル推進」が前回と比べ順位が上がっています。

施策への要望(上位10項目・複数回答)

1位(1)	高齢者福祉の充実	38.6%
2位(2)	防犯・地域安全対策	32.7%
3位(4)	子育て支援(少子化対策)	19.9%
4位(3)	震災・水害対策	18.6%
5位(8)	騒音・大気汚染対策	15.6%
6位(5)	青少年の健全育成	14.0%
7位(7)	ホームレス対策	13.3%
8位(10)	ごみ減量・リサイクル推進	12.0%
9位(6)	環境美化対策	11.7%
10位(9)	学校教育の充実	10.6%

※()は17年度の順位

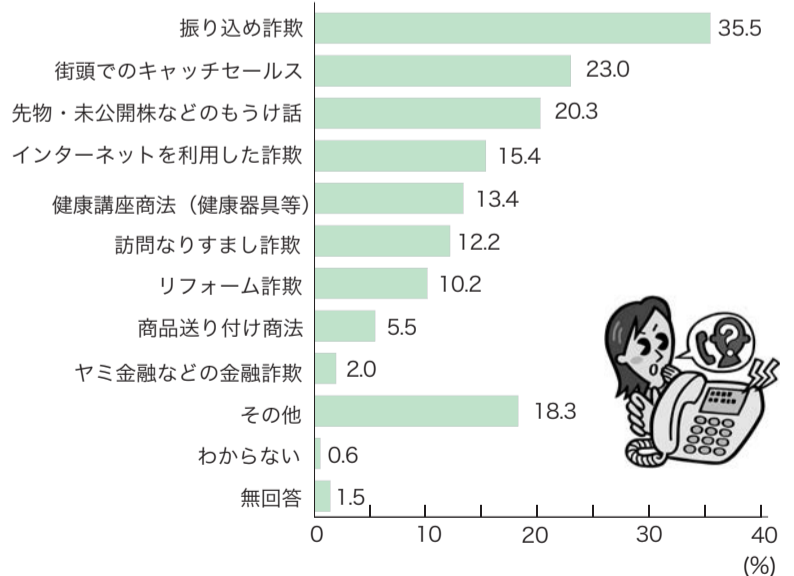
暮らしの中の安全

◎悪質商法(右図・複数回答)

▶「被害にあったことがある」または「被害はなかったが悪質商法に遭遇したことがある」人は合わせて3割近く その手口で最も多いのは、「振り込め詐欺」でした。

◎食の安全

不安を感じていることを尋ねたところ、ほとんどのの方が、「食品添加物」(57.7%)や「人体に影響のある汚染化学物質」(56.2%)、ノロウイルスなどの「食中毒」(40.4%)などについて不安を感じており、食品の安全性に対する区民の皆さんの意識の高さが表れています。



コラム 新宿まち・人・しごと

先ごろ亡くなられた井沢八郎さんの昭和39年のヒット曲「あゝ上野駅」に感慨を抱く地方出身の方が新宿のまちにも多くいると思います。評判の映画「ALWAYS S-III目の夕日」にも集団就職列車で上京した少女の

区長 中山 弘子

「くじけちゃならない人生が」と懸命に生きてきた人々の多くは還暦を過ぎました。東京はこれまで多くの人材を地方から吸収し、かつ大消費地として、地道な生産を地方に委ねて発展してきました。▼地方の財政や経済が課題とされている今、私たちはこうした東京の成り立ちを支えた人々にもっと思いを馳せることが大切だと思います。